

① “インスタ映え”する題材とは、どんなものでしょうか。記事中の言葉を使って端的にまとめましょう。

② 記事を読む限り、湯布院の良さは女子大学生に十分伝わったようです。端的に示す言葉を記事から抜き出しましょう。

③ 学校の中でインスタ映えする場所を紹介するとしたら、あなたはどこを選びますか？理由も交えて書いてみましょう。

京都市を中心に多様な分野のクリエイターを生み出す活動に取り組む、大学生や社会人の団体「ミラキョー」が企画。由布院温泉の誘客促進に向け、女子大生の目線で提案をできないかと考えた。

関西や関東の女子大学生8人が15、16の両日、湯布院を訪れた。3チームに分かれ、スマートフォンとカメラで、離れの客室や豊富な家族風呂など施設の魅力的な場所や印象に残るシーンを撮影。その素材を使い、思いの切り口で動画作品を作成した。

### 流行のSNS駆使し“指南”

完成後は旅館の関係者から人気のSNS「インスタグラム」に投稿している様子も再現実況作品。女子旅にも適した旅館であることを伝える作品などを披露した。「癒やし」をテーマにしたものもあった。学生は旅館の改善策や情報発信方法も提案。客がSNSに投稿したくなるアイデアなどを紹介した。「旅館にある和風の庭や水車などは見る機会が少なく、インスタ映え“する”との声も出た。

### 県外の女子大生視点で由布院温泉PR

私たちなら由布院温泉の旅館をPRします。県外の女子大学生が、ちまたで流行しているツールを駆使した情報発信方法を旅館関係者に、指南する取り組みが由布市湯布院町であった。自分たちでPR動画を作ったほか、会員制交流サイト（SNS）で発信する際に重要なフォトジェニック（写真映え）など、心に響かせるヒントを教えた。

# 私たちがなら こう発信!



「旅荘 牧場の家」近くで動画を撮影する参加者ら＝由布市湯布院町川上



おかみの浦田祥子さん（18）＝顔写真＝は「今、一番発信力があるインスタの活用について若い世代から気付きをもらった」と喜んだ。

「ミラキョー」代表の間瀬清香さん（同志社大4年）は「帰ってきた感じがあり、ホッとできるのが湯布院の良さ。こうした取り組みを通じ、地方のいいところを発信していきたい」と話した。（指原祐輔）